

令和7年度 祥南小学校 グランドデザイン



【教育目標】
させられている 私ではない
【めざす子ども像】

自ら考え
学びとる子

命を守り
体をきたえる子

自然を愛し
いつくむ子

力を合わせ
はたらく子

学び合いのある授業づくり

- ・基礎的・基本的な知識・技能習得の重視（指導と評価の一体化）
- ・個別最適で協働的・体験的な学びの場の設定（主体的対話的で深い学び）
- ・ICT機器の効果的な活用

自他を尊重する態度の育成

- ・命の教育（ゲートキーパー育成）、道徳教育の充実
- ・粘り強く取り組む力、自分らしく生きる力、しなやかで折れない心の育成
- ・異文化理解・特別支援教育の推進

きめ細やかな個への指導・支援

- ・QU、各種アンケートによる子ども理解・支援
- ・幼保小中の連携による継続支援
- ・家庭、地域社会、関係機関（つながりディレクター、SSW等）との連携

「チーム祥南」として教職員の共通理解と協働体制の確立

- ・授業力、児童理解力の向上（教職員間の情報共有）
- ・協働する姿勢の確立（OJTの充実）
- ・働きやすい環境づくり

風景のよい学校に子どもは育つ

【経営方針】

子どもと教職員がともに伸びる学校
・地域と協力し、地域とともに
心のふるさととなる学校

心のふるさととなる学校づくり

- ・「あはは」を推進し、安心につながる教育活動の実施
- ・懸命に努力する体験・温かく励まされる体験ができる場の設定

自己肯定感を高められる学校づくり

- ・児童会・委員会活動の活性化
- ・係活動・清掃活動の充実
- ・自分たちで創り上げる場の設定
- ・多様な生き方や在り方を考え、自他の個性や生き方を認め合う場の設定

愛される学校づくり

- ・学校評価の充実（教育活動の改善）
- ・児童の活躍や教育活動等の積極的な情報発信（ホームページ、学校・学年だよりの充実）
- ・施設設備の整備、感染症対策・安全意識の高揚

家庭・地域社会との連携・協働

- ・家庭・地域住民等と目標やビジョンを共有し、連携・協働できる体制づくり
- ・地域素材、地域人材の積極的な活用（米作り体験学習、学校支援ボランティア、地域講師の活用、あいさつ運動等）

子どもの健やかな成長を支える、伝統と革新のバランスが取れた教育活動の推進



（森信三氏の唱えるしつけの三原則）

あ・・・「あいさつ」をする
は・・・「はい」と返事をする
は・・・「はきもの」をそろえる

